

アンケート結果及び西小倉地区のりあい交通(素案)の経費試算について

【1】アンケート結果

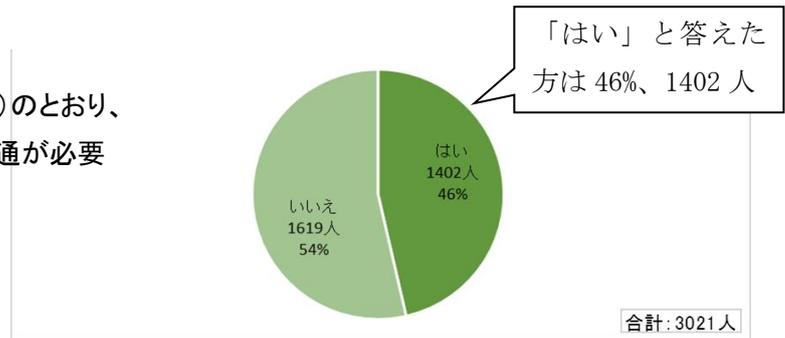
○調査時期：平成 27 年 5 月実施

○対象：西小倉自治連合会に属する全 6,589 世帯。アンケート用紙を各世帯に配布。

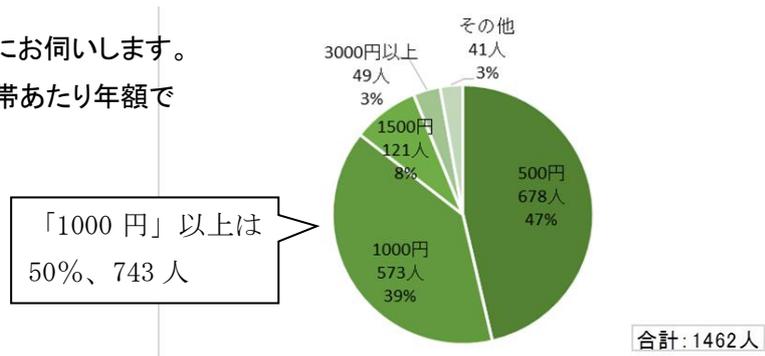
○回答率 世帯ベース 3,206 / 6,589 世帯 (48.7%)

(主な質問内容)

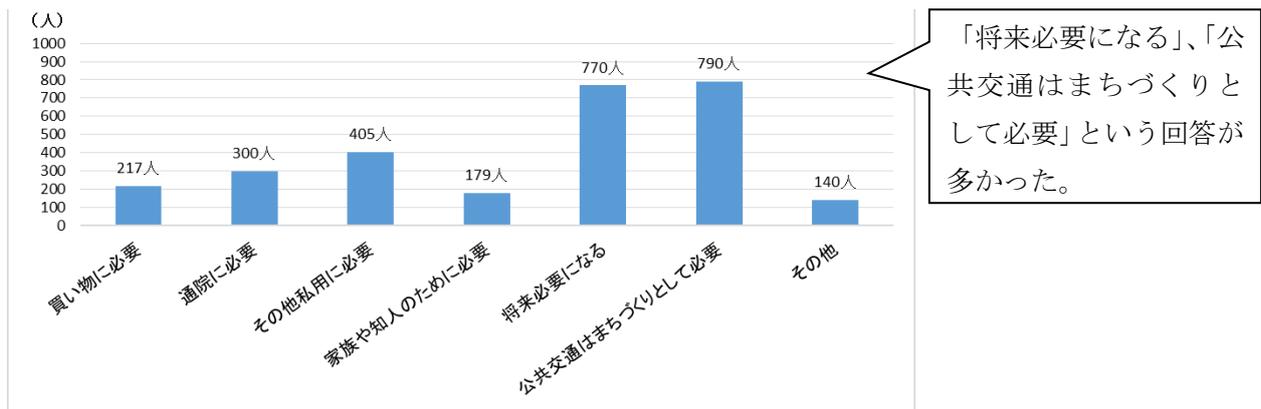
Q1. 西小倉地区のりあい交通計画(素案)のとおり、
運賃以外に地域が負担をしてでも公共交通が必要
であると思いますか。



Q2. Q1で①はいと答えられた方にお伺いします。
負担できる場合、運賃以外に1世帯あたり年額で
何円まで負担ができますか。



Q3. Q1で①はいと答えた方にその理由をお伺いします。(複数回答可)



アンケートの結果、地域負担について賛成・反対ほぼ半数ずつに意見が分かれており、町内会単位で負担金を集めるのは困難であるため、世帯ごとに「サポート会員」を募集し、運行開始を目指すことを検討しました。

【2】西小倉地区のりあい交通（素案）の経費試算について

●確保可能な地元負担額の試算について

- ・アンケート結果より、負担額1世帯500(円/年)と答えた世帯数：678世帯・・・①
1世帯1,000～3,000(円/年)と答えた世帯数：743世帯・・・②
- ・1世帯500(円/年)を集める場合と1,000(円/年)を集める場合に分け、確保できる地元の予算額を次の通り推計。
1世帯 500(円/年) × 1421世帯 = 710(千円/年) ※①+②の世帯。
1世帯 1,000(円/年) × 743世帯 = 743(千円/年) ※②の世帯。(500円の場合とほぼ同じ金額)
1世帯 1,000(円/年) × 800世帯 = 800(千円/年) ※②に加え①の内、57世帯が加わる必要有。
- ・地元負担額が71又は80万円/年以下となるような運行計画を検討しました。

●運行経費、収入の試算について

- ・運行計画の内容は「資料2-1」の通りで、毎日の運行が難しいため、年間104日(週2日)程度の運行としました。
 - ・使用車両は、ジャンボタクシー(9人乗り)を想定。
 - ・運賃1回200円/人、1日平均利用人数50人で試算。
- 運行経費(千円/日) = 運送経費6,180(円/h) × 運行時間4.0(h/日) ÷ 25(千円/日)として試算する。
※今後、運行する事業者により費用の増減は有り。また、上記費用は停留所の設置等の初期投資に要する費用等は含まず。

【運行経費】25(千円/日) × 104(日) = 2,600(千円/年)・・・①

【運賃収入】200円/人 × 50人/日 × 104(日) = 1,040(千円/年)・・・②

【欠損額】① - ② = 1,560(千円/年)・・・③

【収支率】② / ① = 0.40・・・④

【地元・宇治市の負担額】市補助金 = ③ × 1/2 = 780(千円/年)・・・⑤

地元負担額 = ③ - ⑤ = 780(千円/年) > 71万円 = NG

< 80万円 = **OK**

以上の試算から、週2日程度の運行となりますが、年間1,000円の会費で800世帯以上の「サポート会員」を募集し、運行開始を目指すことにしました。

【参考】平成25年度に実施したアンケート調査では、右のグラフの通り、約9割の方が週1～2回以下の利用であることから、週2日の運行であっても計画を進めようと考えました。

Q. H25.3まで運行されていたバスを利用された頻度は？

